

日本語教育指導者養成プログラム（修士課程）修了生の皆様へ

皆様が本プログラム修了後も、このプログラムを通して会得した知識・経験を生かして、日本語教育に従事し、継続的な研究を実施することを支援するために、国際交流基金は、日本国内で開催される学会への研究発表参加を支援するプログラムを用意しました。下記の内容の支援プログラムを希望される方は、日本語国際センター教師研修チーム宛に、連絡してください。

記

1. 支援の条件

- ① 本人が中心的にかかわった研究に関する発表であること。個人研究でも、共同研究でもよい。
- ② その学会で、年に1~2回開催される全国規模の学会（〇〇大会など）であること。地方の研究集会や小規模な研究会、GRIPSの「日本言語文化研究会」などは該当しない。
- ③ 発表の形式は問わない。口頭発表、ポスター発表、パネルセッションなど、どの形式でもよい。
- ④ 申請期間：修士修了の2年後（翌々年）の9月末日までに学会から発表参加の承認を得ていること。
（例：2011年9月修了の10期生の場合は、2013年9月30日まで）
- ⑤ 支援対象期間：修士修了の3年後の3月末日までに開催される学会での発表であること。（例：2011年9月修了の10期生の場合は、2014年3月31日まで）
- ⑥ 同時に他機関からの経費支援を受けていないこと。
- ⑦ 学会発表来日の際には、センターで在籍学生との交流を行うこと。

2. 支援内容

- ① 自国から日本までの往復渡航費（エコノミー・ディスカウント）
- ② 日本国内移動費
- ③ 滞在費（学会開催日および前後各1日の宿泊費実費）ただし、日本語国際センターに宿泊する場合は無料とする。
- ④ 学会参加費

3. 申請にあたっての注意事項

- ① 学会の入会費、年会費は本人が負担すること。
- ② 学会発表申請までの手続きは、本人が行うこと。
- ③ 規模や発表内容によっては、日本国内だけではなく、日本国外の大会も適応される場合もあるので、詳細は4.②（日本語国際センター教師研修チーム）にお問い合わせください。」

4. 申請の手続

- ① 学会発表が決定したらできるだけ早く、「学会研究発表参加 申請書」にすべて記入した上で、日本語国際センター教師研修チームにファックスかメールで連絡すること。その後、採用された研究テーマの概要及び学会からの採用通知(写)を添付して、郵送（または国際宅急便等を利用）すること。
- ② 提出された書類を審査の上、支援の可否を判断し、結果を通知する。

連絡先：日本語国際センター教師研修チーム

〒330-0074 埼玉県さいたま市浦和区北浦和 5-6-36

Tel : 048-834-1181 FAX : 048-834-1170 E-mail : urawakenshu@jpf.go.jp

以上